

協会だより

緑地管理研究会（リモート開催）

日時：2023年2月22日（水）10:00～17:00

オンライン（Zoom）によるライブ配信

プログラム：

講習会（午前）：緑地管理用薬剤の効果的で安全性の高い利用方法について

1) 緑地管理用除草剤・抑草剤の効果的な使用方法（日本植物調節剤研究協会）

2) 緑地管理用農薬を使用する上での注意点（緑の安全推進協会）

講演会（午後）：各利用場面における課題紹介

1) 「草で草を制す！ グリーンインフラにおける被覆植物の利用と管理」

① センチピードグラス導入地における初期管理の省力化検討（ネクスコ東日本エンジニアリング）

② 地被植物利用による緑地省力管理の現状と課題（中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京）

③ 植物成長調整剤による誘導植生のその後（中部電力）

④ 芝の維持に向けた初期段階での植調剤等の活用（河川財団）

⑤ 沿道におけるカバープランツを活用した雑草抑制の取組み（南西環境研究所）

⑥ ノシバと薬剤を用いた水田畦畔や空き地の省力的雑草管理（日本植物調節剤研究協会）

2) 国有地における雑草管理の現状と課題（財務省理財局国有財産業務課）

3) 薬剤紹介（各社からのプレゼンテーション）

参加費：無料（事前申込み者に参加URLを配付）

参加申込み：協会ホームページに掲載の開催要領を参照の上、2月8日（水）までにEメールにて下記宛に申込書をお送り下さい。

連絡先：植調協会 総務部企画課

E-mail: kikaku@japr.or.jp TEL: 03-3832-4188

2023年度植物調節剤の研究開発事業に関わる試験研究課題の募集について

日本植物調節剤研究協会では、植物調節剤の有効利用及び作物・雑草の生理・生態等の研究啓発を目的に、大学、国立研究開発法人、都道府県の試験研究機関との共同研究の一環として試験研究を委託している。

2023年度「植物調節剤の研究開発事業に関わる試験研究課題」を以下のとおり募集する。

1. 対象試験研究課題

除草剤、生育調節剤等の有効利用及び作物・雑草の生理・生態の解明に関わる課題とする。

2. 対象者

都道府県試験研究機関、大学、国立研究開発法人、民間企業等関係者とする。

3. 期間

原則として1事業年度（4月1日～翌年3月31日）とする。

4. 試験研究費

原則として1課題当たり50万円（税込み）を上限とする。

5. 応募方法

当協会理事長宛に申込み文書及び試験研究実施計画書を提出する。

6. 審査方法

書面審査により採択課題を決定する。併せてヒアリング審査を実施する場合もある。

7. 成果の報告

試験研究の成果は当該年度末までに当協会理事長宛に提出する。また、「植調」誌に記事を寄稿する。

8. 申込み

期限：2023年3月末日（必着）

宛先：植調協会 総務部企画課（担当：村岡）

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6

TEL：03-3832-4188 FAX：03-3833-1807

E-mail：kikaku@japr.or.jp

必要書類：応募申請書、試験研究実施計画書

（必要書類の様式については、企画課にお問合せ下さい）

人事異動

2023年1月1日付

任	事務局技術部	青木 梨乃
命	事務局総務部総務課長	志知 昇
命	研究所試験研究部長	金久保 秀輝
命	研究所試験研究部	飯村 太玖巳

植調第56巻 第10号

■ 発行 2023年1月25日

■ 編集・発行 公益財団法人日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
TEL 03-3832-4188 FAX 03-3833-1807

■ 発行人 大谷 敏郎

■ 印刷 (有)ネットワン

© Japan Association for Advancement of Phyto-Regulators (JAPR) 2016
掲載記事・論文の無断転載および複写を禁止します。転載を希望される場合は当協会宛にお知らせ願います。

取 扱 株式会社全国農村教育協会

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6（植調会館）

TEL 03-3833-1821